

子どもたちを中心に、保護者・教職員・地域の共同の力で

ゆとりと希望の学校をつくらう!

コロナ禍の学校・ 子どもたちは今？



検温カード確認、教室内の消毒作業など、新たな仕事が増えています。部活も再開しています。授業準備は勤務時間後に後回しです。(中学校教員)



先生が焦っている感じで授業の進め方が早い授業もあり、たいへんです。一番心配なのは高校入試です。自分なりに勉強しているけど、大丈夫かなって思っています。(中学生)



通常登校がはじまるとさっそくテストでした。範囲は休校中に家庭学習で出された新しい学年の内容で、うちの子は「何で習ってないのにテストするの」と戸惑っていました。(保護者)

分散登校の時にうちの子は、「10人の授業がいい。静かだし落ち着いている。先生もいてねいに勉強をみってくれる」と言っていました。通常にもどったら「人が多くて疲れる」とため息をついています。(保護者)

1日7時間授業になっていて疲れます。宿題もたくさん出るようになりました。体育でもできない種目があってつまらない。(小学生)

コロナにかからないか心配。トイレにウイルスが残りやすいとテレビで言っていたので、トイレをなるべく使わないようにしています。お父さんが東京に出張するので心配です。(小学生)



全国学力テストは中止になったのに、うちの市では配布された問題冊子を、「有効に活用する」との理由で結局学校でテストをやって採点するそうです。これってどうなの？(保護者)

コロナの影響で収入は激減です。でも学年費、給食費、修学旅行の積立、制服代、部活用具の費用など、教育費の負担は変わりません！(保護者)

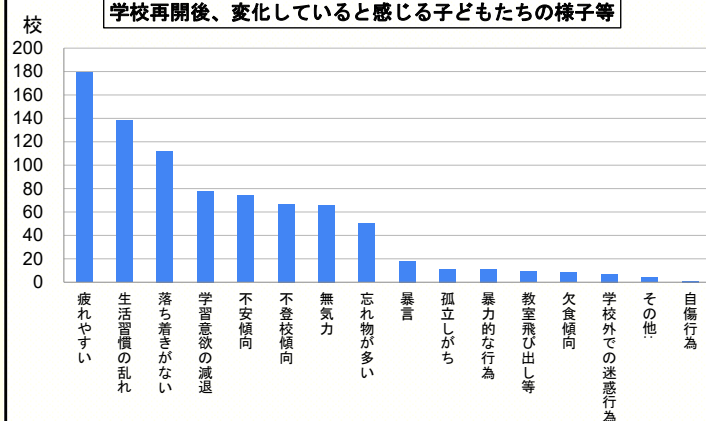


外国語科が始まり、プログラミング教育も。さらにコロナ2波3波の休校にそなえ、オンライン学習の体制づくりや研修も。多様な子どもたちに日々対応しつつ、仕事は増えるばかり…。(小学校教員)

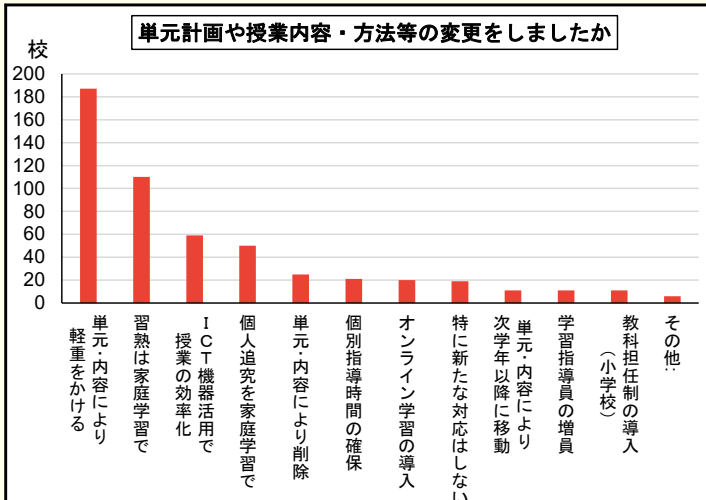


コロナ禍の学校・子どもたちは今

学校再開後、変化していると感じる子どもたちの様子等



単元計画や授業内容・方法等の変更をしましたか



県教組で7月に「学校再開後の子どもたちの様子」について県内の学校に調査した結果（278校回答）では、「疲れやすい」「生活習慣の乱れ」等の長期休校による影響が多く、多くの学校から指摘されています。また、「学習意欲減退」「不安傾向」「不登校傾向」「無気力」などメンタルに関わる面での危惧される状況も多く、多くの学校から指摘されています。コロナ禍というかつてない不安状況の中で、教職員が子どもたちに寄り添い、心のケアが十分できる、安心できるゆとりある学校が今こそ必要です。

また、同調査で休校措置による学習の遅れについて各学校での対応を調査した結果では、「単元・内容により軽重をかける」が最も多く、学習指導要領に定められた学習内容を今年度中にすべて扱うことに苦慮する状況がうかがえます。

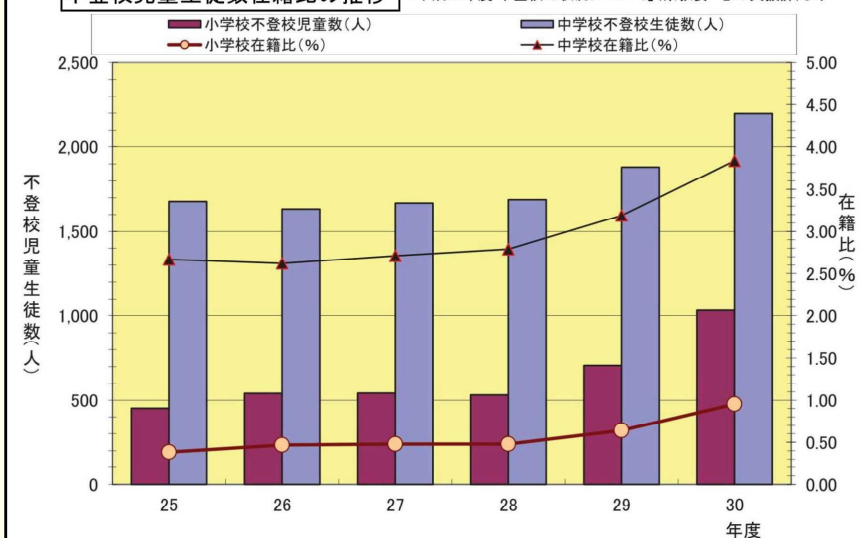
一方、練習問題などの「習熟は家庭学習で行う、授業で自分なりに考える時間である」「個人追究を家庭学習で」あらかじめ行うなど、家庭学習に依拠する対応の学校も少なくありません。様々な家庭状況があり、家庭学習へのとりくみ状況も子どもにより異なる中で、さらなる学力差がつくことが危惧されます。かつてない困難状況でも学校では「個別の指導時間の確保」などを行い、子どもたちの学習格差に対して、

学びを保障をしようと献身的にとりくんでいる姿がうかがえます。

増え続ける不登校の子どもたち

不登校児童生徒数・在籍比の推移

「平成30年度 不登校の状況について」(県教委 心の支援課)より



2019年県教委公表の調査結果から、不登校の子どもたちは、ここ5年間は増加の一途を辿っています。学年では小学校高学年から増え始め、中学生段階で大きく増加しています。理由については、学校に関わる問題で不安の傾向があるとされる子どもたちが最も多くなっています。

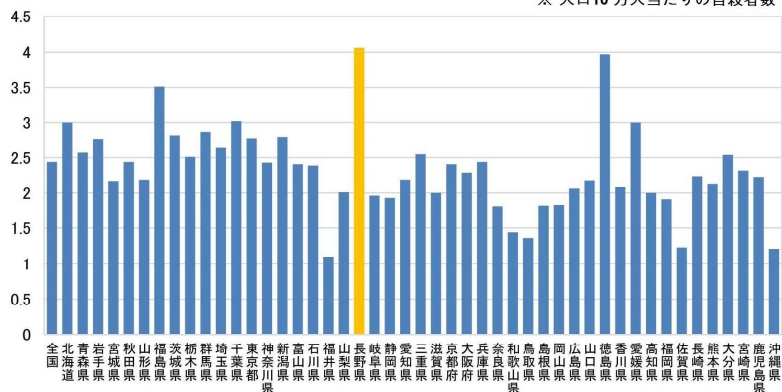
2016年に成立した教育機会確保法に示された学校外での多様な学びの場を保障しつつ、子どもたちにとって、学校が弱さを表出できない環境になっていないか、子どもたちに過度なストレスを与える環境になっていないか、多様性を受容して、支える場所になっているのかを考えなければなりません。

また、学習指導や生徒指導の中で「学校スタンダード」に象徴される一律・一斉の教育や国連子どもの権利委員会が勧告している日本の「高度に競争的な教育環境」について根本的に考え直す必要があります。

未成年者の自殺率が高い長野県

都道府県別未成年者の自殺死亡率（平成24年～28年平均）

※人口10万人当たりの自殺者数



（自殺者数：厚生労働省「人口動態統計」／人口：総務省「人口推計」）

未成年者の死因の第1位が「自殺」というのは、世界的に見ても日本特有の現象です。そして長野県の未成年者の自殺死亡率は4.1で、全国平均の2.4を大きく上回る状況です。

これに対して県は「子どもの自殺対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、本格的な対策にとりくみつつあります。

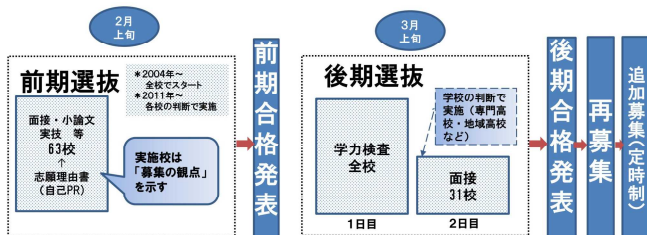
内容は、①自殺のリスクを抱えた未成年者のサインに気づき、支援につなげる危機介入のステップを強化②自殺のリスクを抱える前段階の予防策として「SOSの出し方に関する教育」にとりくむ③自

殺のリスクを抱えさせない子どもの居場所づくりを進める、とする3つの総合的な対策を示しています。

対症療法的な対策が示されていますが、そもそも自殺を考えるほどの生きづらさを抱える子ども・若者が多いことの背景、原因をどうとらえているのでしょうか。未成年者の自殺の原因では「学校問題」が34.6%と第1位になっています。学校が弱さや多様性を受け入れる安心できる場所となっているのでしょうか。

複雑化、多様化する高校入試(案)!! だれのための入試?

現行の入学者選抜制度の仕組み



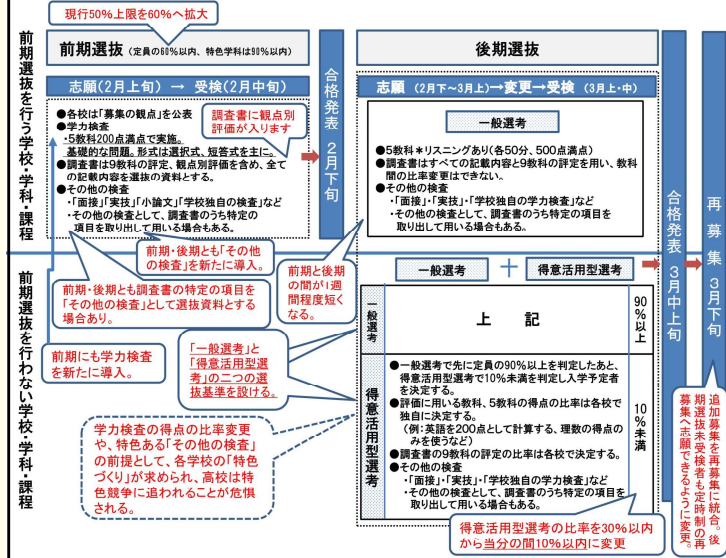
県教委は2019年3月に「新たな高校入学者選抜制度(案)」を公表しました。これまでと同様に前期と後期の複数受験機会を残しながら、前期にも学力検査を導入、後期には一般選考と得意活用型選考という異なる評価基準を導入、前期後期ともに「その他の検査」というそれぞれの高校独自の検査を導入するなど、複雑化し、高校により多様化させるものです。

背景には政府の「教育再生実行会議」で提言され、中央教育審議会の特別部会で具体化に向けて審議されている、高校の普通科を特色化の名の下に解体・再編する政策的な意図があります。

県教委は当事者である子どもたちや保護者に説明をしたり、意見を求めたりすることが不十分なまま、制度を決定しようとしていました。これに対して、「長野県の教育を考える会」※などの県民レベルのとりくみにより、県教委は制度内容の検討と周知に一定程度の期間が必要として、新たな入試制度の導入を2023年度まで2年延期としました。

このままの制度内容で実施されたら受験者にはこれまで以上に受験に関わる準備の負担が増加することとなります。高校による受験者の選別をさらに強めることになり、受験競争の激化が懸念されるものです。高校受験のための中学校生活となってしまうことが危惧されます。

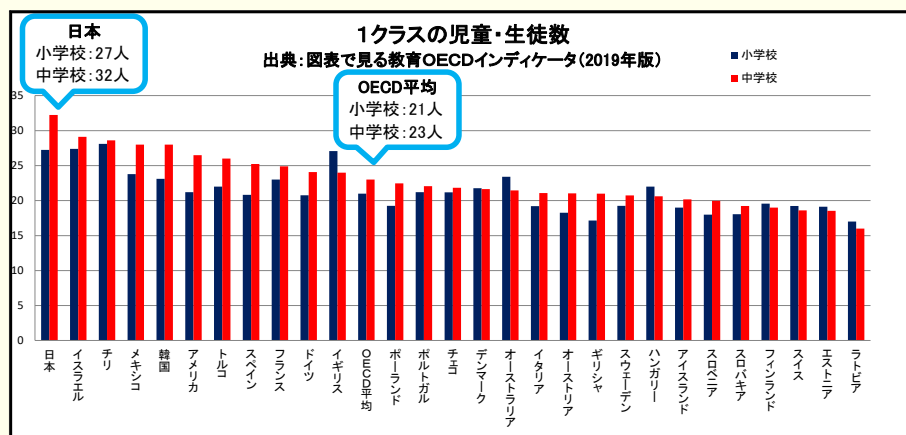
新たな入学者選抜制度(二次案)の仕組み



コロナ禍状況により制度検討自体が遅れている状況ですが、今後も子どもたちに寄り添った制度内容の練り直しと当事者、県民への説明を求めてひきつづきとりくむ必要があります。

※2012年に県内の民間教育団体、教育研究者、県教組、高教組が呼びかけて結成。賛同する36団体、13個人で構成。長野県教育を俯瞰し子どもを中心に据えた教育の実現のためにとりくんでいる。

コロナ禍の今こそ、少人数学級、教育予算増を!

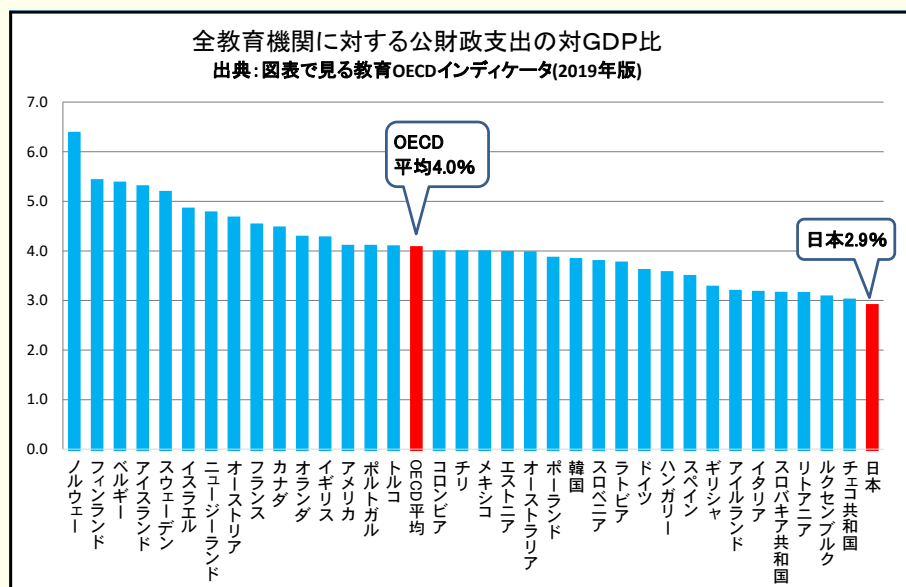


日本の1クラスの平均児童生徒数はOECD※1平均を大きく上回っています。コロナ感染防止のために教室内での身体的距離の確保が必要ですが、1クラス30人以上では文科省が求める「できるだけ2m」の距離確保※2は無理です。

また、不登校の子どもたちが分散登校で20人以下の状況では登校できた子が増加したとのデータもあります。きめ細やかな学習・生活指導、感染予防、不登校対応の点からも国の責任ですべての子どもたちに30人以下学級の実現をめざしましょう。

※1 OECD(経済協力開発機構)は、加盟する35カ国により国際経済全般を協議することを目的とした国際機関。
※2 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(文科省)に「できるだけ2m(最低1m)」と示されています。

日本の教育費の保護者負担は世界的にも突出しています。そして、日本の教育予算は先進国で最低レベルです。もっと教育予算を増額して、教育条件整備をすすめることが求められています。



コロナ禍により、経済的に困窮する家庭の増加が危惧されます。学びの保障のためにも、給付型奨学金制度の充実、学校徴収金の軽減などを行い、保護者負担に頼っている教育費を公費で負担すべきです。

教職員に子どもと向き合うゆとりを!

文科省の調査では、中学校で約6割、小学校で約3割の教職員が過労死ラインで働かされていることが明らかになり、文科省も「看過できない状況」としています。

長野県教組調査でも2006年以降ほぼ毎年、過労死危険性の超過勤務が続いている深刻な現状です。

教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合い、わかりやすい授業のために準備する時間がとれるように、業務を減らすことや教職員の数を増やすことなどがもっとも必要です。

